

●甲府やまなみクラブ会長主題 : Think Globally Act Locally

藤原 一正

●あずさ部長主題:よい結果をもたらす心の安定と考える力を 森本 俊子(長野)

●東日本区理事主題:未来のために今、学びと気づきを、未来のために、

自信を育み、真の喜びに出会う! 山田公平(宇都宮)

●アジア太平洋地域会長主題:変革のための光となろう 利根川恵子 (川越)

●国際会長主題:輝かそう、あなたの光を

Ulrik Lauridsen (デンマーク)

甲府やまなみ ワイズメンズクラブ 2024年 4月 No.19

●今月の強調目標 Week 4 Waste RBM ●今月のことば

「余分な富をもてば、余分なものが手にはいるだけである。」

ヘンリー・デイヴィッド・ソロー

仙洞田 安宏 君 選

今月の例会案内(第19回)

●日時:2024年4月20日(土)11:00~14:00

●会場:甲府駅北口よっちゃばれ広場

茶房どんぐり

1.清掃活動(小雨決行)

11:00 藤村記念館前集合 よっちゃばれ広場周辺のゴミ拾い 持ち物:軍手・トング・ビニール袋

2.例会 茶房どんぐり

•開会挨拶

藤原 一正 会長

今月のことば

仙洞田安宏 君

- ・ワイズランチ
- •諸報告、今後の予定等協議
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- •閉会挨拶

藤原 一正 会長

3月のデータ

会員数:12名 例会出席:メンバー8名 ゲスト:志村功様 例会出席率:67% ニコニコ:9,369円

メーキャップ:米山 修正出席率:75%

ハッピーバースデー

該当者なし

アニバーサリー

遠藤 恭範·友美 (4/4) 菅沼 和也·瑠美 (4/4)



3月6日、やまなみクラブ例会(シャトレーゼホテル談露館)

今月のことば

トルストイ、ガンジー、キング牧師らに多大な影響を与えた思想家ソロー。著書「ウォールデン森の生活」のなかで、物質的な富や豪華な生活様式を否定し、所有物を最低限に抑えることで、精神的な豊かさを追求できると説きました。ウォールデン湖ほとりの森で自給自足の生活を通して生まれた名言のひとつです。170年経た現在にも通じる言葉だと思います。

今月の強調目標

Week 4 Waste=Week for Waste(「ゴミのための週」) 国際協会によって2020-21年度に開始された、ワイズメンズクラブと地域社会を結びつけ、よりクリーンな地球を目指して統一的に行動するCS事業のキャンペーン。活動の多くは、毎年4月22日のアースデイ(地球の日)のある4月と、世界最大の市民運動のひとつであるワールドクリーンアップデイ(毎年9月中旬)に合わせて行われる。

● ● ● ● 3月例会報告 ● ● ● ●

渡邉 隆

やまなみクラブ3月例会は3月6日(水)、シャトレーゼホテル談露館にて仙洞田安宏会員の進行、藤原一正会長の点鐘で開会しました。

「今月のことば」は遠藤恭範会員が担当され、近江商 人の経営哲学の一つである「三方よし」を自社の経営 に生かされていることが紹介されました。

3月例会のゲスト卓話は仙洞田会員の友人である、アマチュアカメラマン志村功様をお迎えし、山梨県内を歩き発信している、ご自分のブログ「甲州斎写楽写真館」の中から、県内に残る、伝統芸能や祭り約30件を紹介されました。

その中には、甲府市小瀬町に伝わる日本最古の人形芝居とも言われる国重要無形民俗文化財「天津司(てんづし)の舞」や、300年以上前の江戸時代から奥多摩地方独特な行事として地域に親しまれ、今に続いている「丹波山ささら獅子舞」、さらに数え7年に一度行われる3箇所の諏訪神社の「御柱」などの行事を、映像などを交えて紹介していただきました。

諸報告では、「プロボノ・ボランティアリスト」登録フォームの説明、6月1日に開催される第27回東日本区大会への参加アピールなどが紹介されました。

3月に誕生日を迎えられる遠藤恭範、三井雅之会員、 結婚記念日を迎えられる米山夫妻、仙洞田夫妻の紹

② 役員会報告 ⑤

- ▼日時:3月27日(水) 18:30~20:00
- ▼場所:山梨YMCA
- **▼出席者**:藤原·松本·渡邉·米山·仙洞田
- ▼報告事項
- ・3月9日・10日に開催された、東日本区の次期クラブ会長・部役員研修会に出席した米山次期会長から報告がなされた。

▼協議事項

・4月野外例会について(4/20:土)

国際協会で推奨している「Week 4 Waste」週間に合わせ、北口よっちゃばれ広場のゴミ拾いを兼ねた野外例会とする。11:00藤村記念館前集合

・5月例会について(5/8:水)

卓話は、やまなみクラブ例会に時々出席している橋本晶子さん(整理の行動習慣スペシャリスト)に依頼

・次年度計画について

米山次期会長に、次年度方針、役員、行事予定等の素案を提示してもらい、4月から6月にかけて決定する。話し合いの中で、会員増強と事業の確立が課題との認識で一致した。

•ユースのスタディツアーについて

今夏チェンマイで開催されるワイズ国際大会に合わせ、学生、社会人等5~10人程度を募集しスタディツ

介がありました。偶然この日は、ゲスト卓話者の志村様の誕生日ということで、ハッピーバースデーを歌ってお祝いしました。

また、松本クラブのファンド事業である「アジア賞作文 コンクール」の原資となる土佐文旦をクラブで1箱購入し、 出席者で分けました。

なお、この日のニコニコは能登半島地震支援募金に充てることにしました。

出席者:藤原・松本・遠藤恭範・遠藤成人・大澤・仙洞田・福田・渡邉、ゲスト:志村功さん



3月例会ニコニコメッセージより

- ▼今年ももう3月になってしまいました。日が経つの が早いです。 (藤原一正)
- ▼山梨の伝統芸能と祭りを紹介していただきました。県内には沢山の道祖神祭りがあり、現在も引き継がれ実施されている様子がわかりました。

(松本公夫)

- ▼志村功さん、珍しい写真をありがとうございます。 (渡邉 降)
- ▼知らないだけで楽しい祭りが沢山あることを教えていただき、ありがとうございました。 (遠藤恭範)
- ▼例会に参加できて感謝 (大澤祥子
- ▼旧友の志村君を卓話者に迎えることができ感謝です。彼のブログ「甲州斎写楽写真館」を検索してみて下さい。 (仙洞田安宏)

アーを計画している。県(長田ふるさと財団)からの補助金が決定している。また、チェンマイクラブの西村隆夫さんから、IBC締結の希望があった旨、報告があった。やまなみの力量を考え、今後検討することとなった。

▼今後の予定の確認

- ・6/1(土)の東日本区大会への参加予定者を確認
- •6/5(水) 6月例会 (談露館予定) プログラム検討
- ・6/9(日) 山梨YMCAチャリティーラン 実行委員会は4/5(金)、4/19(金)、5/10(金)、5/24(金)

(文責:仙洞田安宏)

東日本区次期会長部役員研修会に参加して

次期会長 米山 俊彦

3月9日(土)、10日(日)、御殿場市の「日本YMCA同盟 国際青少年センターYMCA東山荘」で開催された次期会長・部役員研修会へ参加してきました。

会場の東山荘は、1915年(大正4年)に学生 YMCA夏季学校の常設施設として建てられ、 1963年には、世界YMCA大会を開催するな ど、長い歴史がある施設です。

御殿場市郊外の自然豊かな丘の上に本館やいくつもの宿泊施設などが点在し、富士山の眺望とともに、周りの森林の中の散策も楽しめる素晴らしい施設でした。当初抱いていた"荘"というイメージとは違っていました。

研修会には、北海道から静岡まで、東日本区に所属する60名を越える会員の参加がありました。研修の内容は、「能登半島地震におけるYMCAの活動」の説明にはじまり、「東日

本区の法人化が目指すもの」、「国際協会・アジア太平洋地域の現況」、「YMCA理解・パートナーシップ」と、それぞれのテーマ毎に説明が続きました。

その後、今研修のメインテーマでありました「東日本区の現状と2024~2025年度理事方針」について 基調講演が山田公平理事からありました。

理事からは、「ワイズの方向を見極める」という理事主題が提案されました。そのより具体的な方針として、「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」、「CSのモデルへの応援態勢」、「エクステンションを何かをするために」、「クラブライフの充実に必要なステップ」、「国際的なつながりを深める、ワークキャンプ・・・」、「ワイズのイノベーションをどう実現するか5年後の姿に向かって」の6項目が示されました。

そして理事からは、「さらなる発展のための提案」と「さらなる改善策」がいくつか示されました。

理事方針を受けて、その後、部毎に分かれて話し合いを行い、各クラブから高齢化や会員数の減少など、共通の課題がある中でも、歴史あるクラブの個性を尊重しながら、活動を行う事が大切という意見や工夫をしながらクラブ活動を積極的に進めていきたいという前向きな意見がありました。

発足して、まだ2年のやまなみクラブとしては、まず、クラブの土台をしっかりと固めていく事が大切だと感じました。これまで、グローバルフェスタや写真展の開催、山梨YMCAの事業へ協力してきた経験を踏まえて、東日本区の理事方針を具体化し、少しずつ活動の幅を広げていきたいと思いました。

研修会の後は、皆さんお待ちかねの夕食懇談会と 部長を囲んでの懇親会となりました。夕食懇談会の 席は、普段、なかなか交流がない会員とも懇親を深めることができるように割り振られ、私は、ワイズメネット委員長(所沢)、次期会員増強事業主任(東京)、もりおかクラブ次期会長、東新部直前部長、あずさ部次期書記、熱海クラブ次期会長、LT委員長(十勝)と同じテーブルになり、新たな交流が生まれ



ました。その後は、会場を本館ホールから宿泊施設に移し、あずさ部次期部長のピーターさん(甲府)を囲んでの懇親会となりました。最初は、理事方針の話も出ていたかと思いますが、いつしか話題は、あっちへ行きこっちへ行きしながら盛り上がり、終わった時間は忘れました。

翌日は、事業主任のプレゼンテーションが行われ、各事業委員会の方針が示されました。

そして研修の最後に、東日本区、部、クラブにおける各役職の役割や手続きについての説明があり、 午前中で全ての研修日程が終了となりました。

今回の研修会を通して、ワイズメンズクラブが長い歴史の中で、様々な分野で多岐に亘り、また、国や地域の境を越えて連携し、活動する中で社会に貢献してきた事を認識する事ができました。

そして、7月から甲府やまなみクラブの会長とし



て、新たな気持ちでワイズメンズ活動に携わっていく責任を改めて感じた研修会となりました。

なお、次期あずさ 部ユース事業主査 の藤原さんはリ モートで、また仙洞 田さんは二日目に 「ヒストリアンからの お願い」で参加し ました。

温放知新~史料室の書棚から

仙洞田安宏

山梨YMCAの史料室には、ワイズメンズクラブに関する史料も沢山あります。

2月に開催された、あずさ部の評議会の折に、部長 選出についての話し合いがもたれました。東日本区 において部の再編が行われたのが1997年、部長は クラブ設立順の輪番というルールが決められ、初代 部長には甲府クラブの大塚篤郎さんが就任しまし た。次年度からは4周目に入ります。

史料室には、あずさ部1年目からの部報、評議会の ワークブック等が保存されています。私が所持してい たものには、一部欠落がありましたので、現在補充を しているところです。



【記念すべき、あずさ部部報 No.0 号から No.3 号】

会員短信

√三井 雅之さん

3月29日(金)と30日(土)、甲府市大里町にある地元 土建業社さんが整備して、甲府市と地域自治会と 協定を結んだ「防災プラザ」で、能登半島地震復興 支援のための「さくらマルシェ」が開催されました。こ の土建業社さんの協力会社となっている三井さん



(仙洞田安宏)

YMCA

山梨 YMCA 総主事 中田 純子

「LOVE」と共に

山梨YMCAには以下の通り行動指針があります。 スタッフが一丸となり2024年度もこれに則り事業展開 してまいります。

山梨YMCAの行動指針は「LOVE」

L (Life support)

YMCA基本原則、FOR ALLの精神に立ち返り、 イエスキリストの生き方に倣って、すべての人々 のいのち、暮らし、人生に寄り添う。

O(Outreach)

オンラインコミュニティーづくりも活用、一人でも 多くの支援を求める人のそばに出向き、インク ルーシブな社会実現のために活動拠点を拡大 する。

V (Volunteer)

ワイズとの協働を強め、ユースの力をパートナー としつつ、関連する団体・企業と連携し、地域共 生社会創生の実現を目指す。

E (Education)

全人一貫教育でSpirit,Mind,Bodyの調和のとれた人材を育成し、ポジティブネットを作り、チェンジエージェントを養成する。

人の一生涯に寄り添う山梨YMCAは0才からの保育 園事業、老いに寄り添う高齢者デイサービス事業等 の様々な事業を通して、年齢、性別、国籍、生きや すさ生きづらさを問わず集う場を目指します。ひとり ひとりが与えられた命を大切に輝くことを最優先した 各事業展開していきます。

したい何か(居場所・学び・夢)が <u>みつかり、</u> 共に支え合う友・仲間・スタッフに <u>つながり、</u> 自分も周りのみんなも <u>よくなっていく。</u> かけがえのない場所を提供させていただきます。

ワイズメンズとの協働を強め地域共生社会創生の 実現を目指す「V」となっております。今年度もどうぞ よろしくお願いいたします。

行事予定

✓4月19日(金) チャリティーラン実行委員会

✓4月20日(土) Week 4 Waste-4月例会

✓5月8日(水) 5月例会(山梨YMCA)

√5月11日(土) あずさ部第3回評議会

√6月 1日(土) 第27回東日本区大会(帯広)

√6月 5日(水) 6月例会(談露館)

✓6月 9日(日) 第26回山梨YMCAチャリティーラン